

小松川高等学校 蓼科寮 周辺マップ

2008年度小松川高等学校PTA蓼科委員会

～早春の御柱コース篇～

＜早春のコース案内＞ コースタイム：ゆっくり歩きで1時間ほど

- ①蓼科寮の敷地内は野鳥が多く訪れます。早朝の野鳥のコーラスは宿泊してこそその楽しみ！
- ②ミソサザイの美声に聞き入るポイント。梢だけでなく、地面の上、岩の上で鳴いていることも多いので探してみましょう。
- ③御柱コース入り口の看板を確認。デッキ状遊歩道はすべりやすいところもあるので注意。木の葉が茂っていないければ④⑤から空き地を双眼鏡で観察。野鳥を探しましょう。ルリビタキが見られることも！
- ⑥ミズナラの明るい林を歩きます。
- ⑦段差があります。数段降りて、塩沢堰(側溝のような昔の水道)を渡り、堰沿いに平坦な道が続きます。鹿が笹を食べたあと、木の皮を食べたあとがたくさんあります。
- ⑧五社大神に参拝。
- ⑨-⑩ここから下りの山道になります。鹿が木の皮を食べた痕やフンを多く見かけます。フンはキツネや小動物のフンにも遭遇。残雪やぬかるみに鹿の足跡がついていたり、なにやらケモノ臭がすることも。シラカバ、モミを中心とする美しい林が続きます。ところどころに御柱の切株があります。前宮、本宮それぞれ4本、合わせて8本あります。全部見つかるかな？
- ⑪清流にかかった小さな橋を渡ります。宇山堰から先はカラマツ林になります。
- ⑫箕輪平駐車場。御柱コース入り口と同じ看板があります。

＜見た鳥・聞いた鳥＞(2008.4.19-20)

ミソサザイ、アカゲラ、シロハラ、ルリビタキ、アカハラ、カケス、シジュウカラ、ヒガラ、キクイタダキ、ウグイス

＜お役立ち情報＞

- ・早春は下敷も少なく歩きやすいですが、残雪が残っていることもあります。軽登山靴、長靴が便利です。
- ・⑦から塩沢堰沿いに蓼科寮に戻ることができます。A地点でブッシュに行く手を阻まれます(2008.4.20)が、迂回できます。迷わないよう注意してください。
- ・道の脇にはトゲのある木苺が多くあります。怪我をしないように注意しましょう。
- ・帰りは、同じ道に戻るのが一番早いです。
- ・車道をたどって女神湖経由で帰ることもできます。

